

令和3年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習	単位数	2	履修学年・クラス	1A
担当者		使用教材		なし			
学習目標	○農業の体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得する。 ○経営と管理について理解を深め、企画力や管理能力などを身につける。 ○農業の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。						
学習方法	○園芸の様々な管理実習を行い、農業の基礎的知識と技術の習得を行う。 ○作物(水稲)の実習を通して、飼育の基礎的な知識・技術の習得を行う。 ○畜産の実習を通して、飼育の基礎的な知識・技術の習得を行う。 ○果樹栽培を通して、1年間の栽培サイクルをする農業について理解を深める。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、農業に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。				
	技	技能	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。				
	知	知識・理解	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、基礎的・基本的な技術を身に付け、農業の意義や役割を理解している。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	オリエンテーション ・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習による、農業の総合的な知識と学習 ・田植機の操作(作物)	○	○	○	○	[関]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [技]農業の基礎的な技術が身に付いている。 [知]農業に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。	・授業観察 ・実習記録 ・確認テスト
前期末	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習による、農業の総合的な知識と学習 ・刈り払い機の操作(作物) ・管理機の操作(園芸)	○	○	○	○	[関]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [技]農業の基礎的な技術が身に付いている。 [知]農業に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。	・授業観察 ・実習記録 ・確認テスト
後期中間	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)・果樹・作畜(作物・畜産)・バイオの各分野でのローテーション学習による、農業の総合的な知識と学習 ・管理機の操作(園芸) ・コンバインの操作(作物)	○	○	○	○	[関]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [技]農業の基礎的な技術が身に付いている。 [知]農業に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。	・授業観察 ・実習記録 ・確認テスト
後期末	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(野菜・草花)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習による、農業の総合的な知識と学習 ・専攻班に分かれての学習	○	○	○	○	[関]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [技]農業の基礎的な技術が身に付いている。 [知]農業に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。	・授業観察 ・実習記録 ・確認テスト